

社内における環境活動の実施。 新たなシステムの導入でペーパーレス化を推進。



経理処理システム「freee」の導入

今まで紙で提出をしていた、「経費精算」や「支払依頼書」などをシステム化し印刷をなくすことで、紙資源の大幅な削減を目指します。また、最近では請求書のやり取りなどをデータで送るケースも多くなり、システム上で発行した請求書をお客様へ送ることも可能となります。今後も様々な申請をワークフロー化します！

Web 給与明細「Payslip pro」の導入

今まで、紙で配られていた給与明細が Web で確認できるようになります。Web 上でいつでも確認ができるようになるため、紛失等の心配がなくなります。自宅 PC に転送し、PDF 保存も可能なので、印刷して保管する必要もありません。10 月 25 日分の明細から導入されることになりましたので、皆さんぜひご確認ください！

自分たちにできる環境への取り組み。

私たちはリバースサプライチェーンマネジメントによって、廃棄される IT 機器を再利用・再資源化することで廃棄量を削減し、生産するために使用される資源の削減につなげるなど、環境に貢献するビジネスを行っています。今後はビジネスだけでなく、従業員 1 人ひとりが 3R を推進し、環境に配慮した行動を意識していきましょう。

プラスチックカップの使用廃止とマイボトルの推進。

リーテックでは今までウォーターサーバーと一緒にプラスチックカップを設置していましたが、プラスチックが環境に及ぼす影響を考慮し、使い捨てカップの使用を廃止します。ニュースなどでも、マイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）について取り上げられていますが、海にたどり着いたプラスチックを魚などが餌と間違えて飲み込むと、めぐりめぐって私たちの体内に取り込まれる可能性があります。海の生態系に影響を与えるだけでなく、それを食べる陸の生態系にも関わってくる問題であることを認識し、環境のために私たちのできることを実施していきましょう。そこで、今回皆さんにお願いしたいことは、マイボトル・マイカップの使用です。最近では、多くのオシャレなボトルが販売されています。保温性や携帯性を重視したもの、洗いやすい飲み口が広いものなど、これを機に自分だけのオリジナルボトルを探してみたいはいかがでしょうか？



💡 プラスチックの豆知識 ～プラスチックにもいいところがある！～

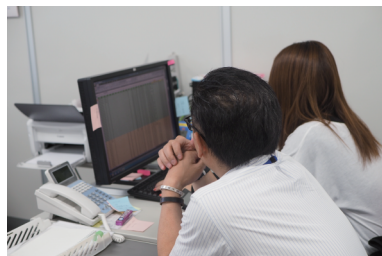
プラスチックは誕生して約 100 年。世界全体では、2 億 8800 万トン、その内、日本では 1054 トン（2012 年 日本プラスチック工業連盟統計）のプラスチックが生産されています。プラスチックが比較的短い時間で普及したのは、紙・木材、金属、ガラス、陶磁器、コルク、天然繊維などの素材を代替してきたからです。単に代替しただけでなく、プラスチックの特性を活かし、プラスチックにしかできない役割を果たしてきたからです。その多くの特性を活かすことで、持続可能な社会づくりに貢献してる部分もあります。

たとえば、紙や木材の代わりにプラスチックを使うことで、熱帯雨林の保護、砂漠化の抑制につながり、生物多様性の保護に貢献していたり、金属やガラス、陶磁器の代わりに使うことで、輸送効率化、流通性、燃費の向上につながり、地球温暖化の抑制や化石資源の節約に貢献しているなど。一概に悪いことばかりではないのです。

リーテックのセールス業務に密着 第2弾！

今回は、セールス神野さんが商談前に必ず実施するという、グレード確認の現場に密着しました。

BD (Business Development) が買取った製品はアイテムや処理方法により選別され、適切なセンターへ運ばれます。リユースが可能な製品は、データ消去を行った後、傷の有無によりグレードが分けられます。センターが仕分けしたグレードに間違いがないか、更に厳しい目で二重チェックを行い、お客様に提出するリストに誤りがないように厳重に確認します。この確認作業でグレードが変わることもありますので、とても重要な作業です。今回は相模原センターへ納品された製品を現場のリーダーである伊佐さんと一緒に確認をします。



グレーディング結果のリストを2人で確認し、数量や内容を把握します。



製品を1点1点確認し、記載事項やグレードが合っているか見ます。



確認した製品はまた元の箱にしまいます。

今回の確認で、7台の製品のグレードが変わりましたが、割合からすると少量であり、相模原センターのグレーディングのレベルが高いということが裏づけられました。確認作業は、すべて人の目で行っているため、見落としがあったり、気付かなかつたりする場合がありますが、こうして、複数の人の目を通すことで、間違いを事前に防いでいます。今後もお客様が安心して製品を購入できるよう、適正なグレードで製品を提供してまいります。

文京学院大学 連携プロジェクト告知！

10月に開催される『あやめ祭』にて学生がお客様の不要携帯電話を回収します！

10月20日、21日に文京学院大学ふじみ野キャンパスで開催される『あやめ祭』（学園祭）にて、学生がリサイクルに関するブースを出します。リサイクルという言葉は世の中に溢れていますが、実際に行動できる人はどのくらいいるのだろうかという疑問から、実際に回収ボックスを設置することになりました。今回、学生が回収した携帯電話はリーテックで処理を行い、利益については慈善団体へ寄付をいたします。ブースを訪れた人が3Rについて考え、自分たちの生活の中で物を大切に扱ったり、リユースやリサイクルのある暮らしを心がけてもらうことを目指します。



文京区主催の『文京 エコ・リサイクルフェア』へ出展します。

10月29日に文京区にある教育の森公園で開催される『文京 エコ・リサイクルフェア』へ出展し、子供たちに金属リサイクルについて学んでもらいます。ブースには実際に金属が含まれている鉱石や、学生たちがリーテックのリサイクル体験会で分解した携帯電話を展示して、いろんなところに金属が含まれていることを知ってもらいます。また、金属をリサイクルしないとどうなるのか、リサイクルした後はどう変化していくのか、パネルを使って説明を行う予定です。子供たちが、早い段階でリサイクルについて学び、大切さを知ることとはとても重要であると考えます。リーテックは、学生たちがしっかり説明できるように知識の面でサポートをします。



編集後記



今回、マイクロプラスチックについて記載しましたが、海洋ゴミ問題の大きな原因はゴミの捨て方にあると思っています。ポイ捨てしたものが風で飛ばされてしまったり、コンタクトレンズをトイレや流しに捨てたことで海に流れ着いてしまったり…。使用を抑制することも大切な取り組みの1つだと思いますが、リユースなのかリサイクルなのか廃棄なのか、きちんと選択して適切に処分することがとても大事だと思います。

CSR 小野真菜